

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	一般社団法人キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン
活動テーマ	巨大地震災害対応と雇用創出に関するセミナー開催

南海トラフ巨大地震対応と雇用・産業復興を考えるシンポジウム in 南紀

平成26年 9/17(木) 13:00開演

Profile

永松 伸吾
三陸復興NPOセンター 代表理事

渡邊とみ子
和歌山県立生涯学習センター 代表理事

川原 康信
和歌山県立生涯学習センター 代表理事

竹本 昌人
和歌山県立生涯学習センター 代表理事

和歌山県立生涯学習センター



災害や人道的危機時における被災者支援手法としてのキャッシュ・フォー・ワーク（CFW）の普及啓発のために、東日本大震災の被災現場で雇用創出活動を行っている人々らによるセミナーを、次の南海トラフ巨大地震の想定被災地である和歌山県田辺市にて実施する。

次の巨大地震に備える防災対策の必要性は至る所で叫ばれているが、その後に被災地をどう速やかに立て直すかについては、必ずしも多くの関心が払われているとはいえない。そこで、雇用創出も含めた復旧・復興の教訓を伝承することを目的として、和歌山県田辺市の商工会や社会教育関係の方々を対象に、セミナーを実施した。

講師として、まず大船渡市で水産加工業の復興に関わってきた（株）三陸とれたて市場 内田充俊氏を迎えた。二人に、飯館村の復興にむけて女性による雇用創出の活動を続けてきたかーちゃんのプロジェクト協議会代表の渡邊とみ子氏を迎えた。第三に、釜石における雇用と産業の復興に尽力しているNPO法人、@リアスNPOサポートセンター事務局長の川原康信氏を迎えた。加えて、地元の平成23年台風12号災害からの復興を支援する「復興ツアー」について、田辺市熊野ツーリズムビューローの竹本昌人氏をお迎えした。場所は、和歌山県立情報交流センターBig・Uで開催した。

今回のシンポジウムは、和歌山大学地域連携・生涯学習センターのご協力を得て、地元田辺市役所危機管理課、田辺市商工会、社会教育関係者らの参加を得て実施された。参加者は30名程度となったが、地元のステークホルダーらを中心として活発な議論が行われ、当初の目的である、災害復興における雇用創出の重要性について啓発を行うという目的は十分に達成されたものと考えている。